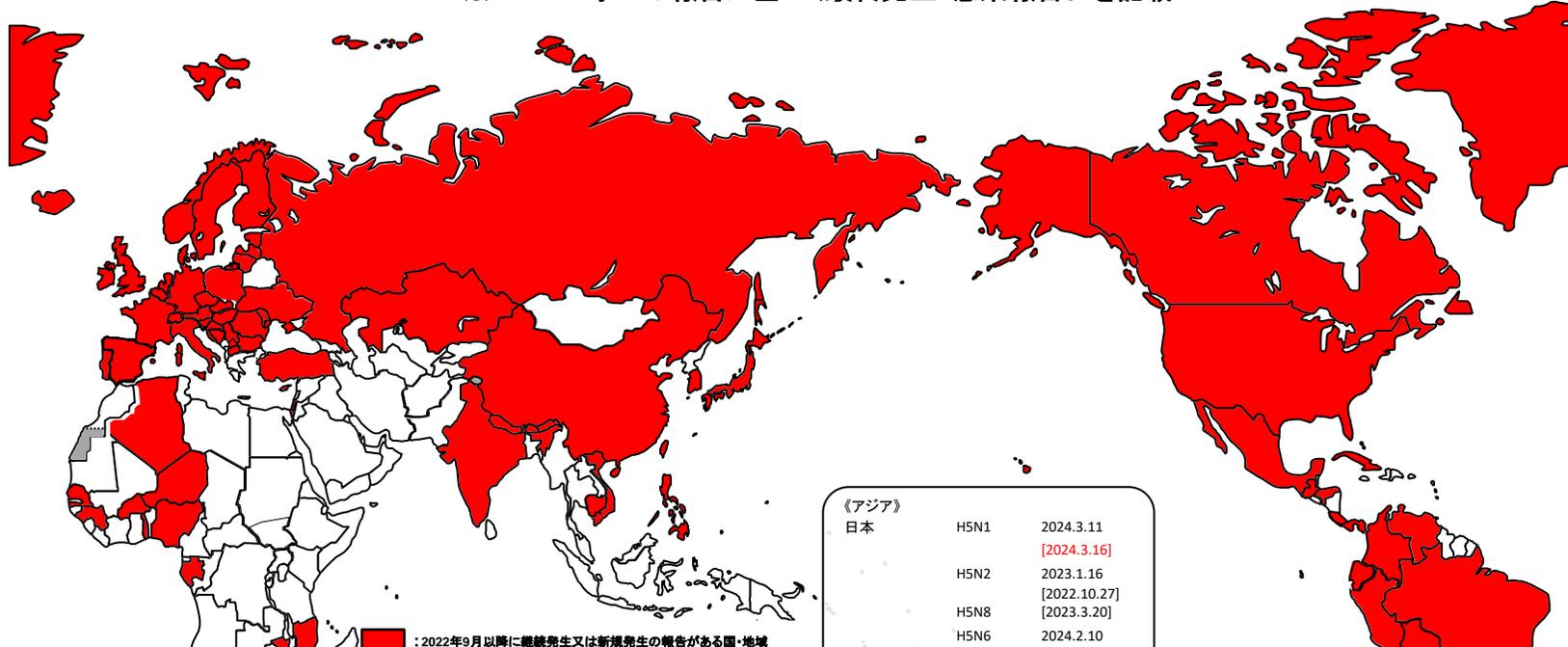


海外における家畜伝染病の発生状況

令和6年4月15日
農林水産省消費・安全局動物衛生課
国際衛生企画班

高病原性鳥インフルエンザの発生・感染報告状況(2022年9月以降)

※WAHIS等への報告に基づく最終発生・感染報告日を記載



■ : 2022年9月以降に継続発生又は新規発生の報告がある国・地域

《ヨーロッパ》			
アイスランド	H5N1 [2023.3.23]	デンマーク	H5N1 2024.2.15 [2024.3.3]
	H5N5 [2023.11.18]	(グリーンランド)	H5N5 [2023.9.14]
アイルランド	H5N1 2022.11.18 [2023.9.11]	(フェロー諸島)	H5N1 2022.10.2 [2022.9.22]
イタリア	H5N1 2024.2.19 [2024.2.13]	ドイツ	H5N5 2023.10.6 [2023.9.14]
英国	H5N1 2024.2.12 [2024.2.12]		H5N5 [2024.2.15]
	H5N5 [2024.3.19]		H5N8 [2024.2.28]
オランダ	H5N1 2023.12.1 [2024.1.8]	ノルウェー	H5N1 2024.2.17 [2024.1.16]
北マケドニア	H5N1 [2022.11.3]		H5N5 [2024.1.15]
スイス	H5N1 2023.3.19 [2023.12.25]	ハンガリー	H5 [2023.10.30]
スウェーデン	H5N1 2024.1.16 [2024.2.16]		H5N1 [2024.3.13]
	H5 [2024.3.14]	フィンランド	H5N1 [2023.12.15]
	[2024.2.21]		H5 [2023.7.27]
スペイン	H5N1 2023.2.4 [2023.12.14]	フランス	H5N5 [2022.9.17]
	[2023.12.22]		H5N1 2023.7.10 [2024.3.4]
スロベニア	H5N1 2023.2.24 [2024.2.28]		H5 2024.1.15
セルビア	H5N1 [2023.11.25]	ブルガリア	H5 2023.11.27 [2024.3.28]
クロアチア	H5N1 2023.11.14		H5N1 2024.3.28
ウクライナ	H5 [2023.12.22]		不明 2022.10.20
	H5N1 2024.2.6 [2024.2.28]	カザフスタン	H5 [2023.12.28]
		コンゴ	H5N1 発生日不詳
		ベルギー	H5N1 2023.12.28 [2024.1.21]
		ルクセンブルグ	H5 [2023.12.19]
		ポーランド	H5N1 2023.1.27 [2023.5.24]
		ポルトガル	H5N1 2024.2.29 [2024.3.6]
		ルーマニア	H5N1 2024.2.29 [2024.3.26]
		チェコ	H5N1 2024.3.14 [2024.3.7]
		オーストリア	H5N1 2024.1.31 [2024.2.26]
		スロバキア	H5N1 2024.2.2 [2023.1.31]
		キプロス	H5N1 2022.11.24 [2024.2.2]
		トルコ	H5N1 2023.2.23 [2023.2.15]
		エストニア	H5N1 2023.2.15 [2023.8.2]
		リトアニア	H5N1 2023.12.18 [2024.1.30]
		ラトビア	H5N1 [2023.8.7]
		ボスニア・ヘルツェゴビナ	H5N1 [2024.2.6]

《アジア》			
日本	H5N1	2024.3.11	[2024.3.16]
	H5N2	2023.1.16	[2022.10.27]
	H5N8	2023.3.20	[2024.2.10]
	H5N6	2024.2.10	[2023.12.6]
	H5N5	[2024.3.19]	
韓国	H5N1	2024.1.9	[2023.2.4]
	H5N6	2024.2.8	[2024.2.6]
台湾	H5N1	2024.3.25	[2024.1.4]
	H5N2	2023.1.23	
	H5N5	2023.1.12	
香港	H5N1	[2023.12.21]	
イスラエル	H5N1	2023.12.5	[2024.1.31]
フィリピン	H5N1	2023.11.30	
	H5N6	2023.1.4	
ベトナム	H5N1	2022.10.3	
インド	H5N1	2023.4.13	[2023.9.5]
		[2023.6.3]	[2023.2.9]
ネパール	H5N1	2024.2.8	[2023.10.8]
カンボジア	H5N1	2023.3.11	[2023.12.5]
ブータン	H5N1		
中国	H5N1		

《ロシア・NIS諸国》			
ロシア	H5N1	2024.2.1	[2023.8.14]
(南樺太)	H5N1		[2023.7.25]
モルドバ	H5N1	2024.2.14	[2024.1.27]

《アフリカ》			
南アフリカ共和国	H5N1	2023.1.6	[2022.12.1]
	H5N2	2022.11.29	
	H7N6	2023.12.18	
	不明	2024.1.11	[2023.8.14]
アルジェリア	H5N1	[2022.11.22]	
ニジェール	H5N1	2022.12.18	
ナイジェリア	H5N1	2024.2.27	
セネガル	H5N1	2023.3.18	[2023.3.8]
ギニア	H5N1	[2023.4.15]	
トーゴ	H5N1	2023.6.21	
モザンビーク	H7	2023.9.29	
ブルキナファソ	H5N1	2024.3.1	

《南北アメリカ》			
米国	H5N1	2024.3.13	[2024.2.26]
	H5N4	2022.9.10	
	H5	[2023.9.6]	
カナダ	H5N1	2024.2.16	[2024.1.1]
	H5N5	[2023.6.29]	
	H5	[2023.6.23]	
メキシコ	H5N1	2024.2.2	[2024.1.3]
	H7N3	2023.8.15	H5N2 2024.3.6
パナマ	H5N1	[2023.3.10]	
エクアドル	H5N1	2024.2.27	[2023.11.14]
コロンビア	H5N1	2023.2.20	[2023.3.3]
	H5	2023.12.19	[2023.7.18]
	不明	2023.7.19	
ベネズエラ	H5N1	[2022.11.17]	
	H5	2023.9.19	[2023.11.20]*
ペルー	H5	2024.2.1	[2023.2.20]
	不明	2023.2.20	
パラグアイ	H5N1	2023.5.30	
ホンジュラス	H5N1	[2023.2.22]	
チリ	H5N1	2023.7.3	[2023.7.5]
コスタリカ	H5	[2023.10.11]	
ウルグアイ	H5	2023.5.11	[2023.10.4]
グアテマラ	H5N1	[2023.1.26]	
アルゼンチン	H5N1	2023.7.5	[2023.10.17]
	H5	[2023.10.20]	
ボリビア	H5N1	2023.3.20	[2023.2.1]
キューバ	H5N1	[2023.2.4]*	
ブラジル	H5N1	2023.9.12	[2024.3.12]

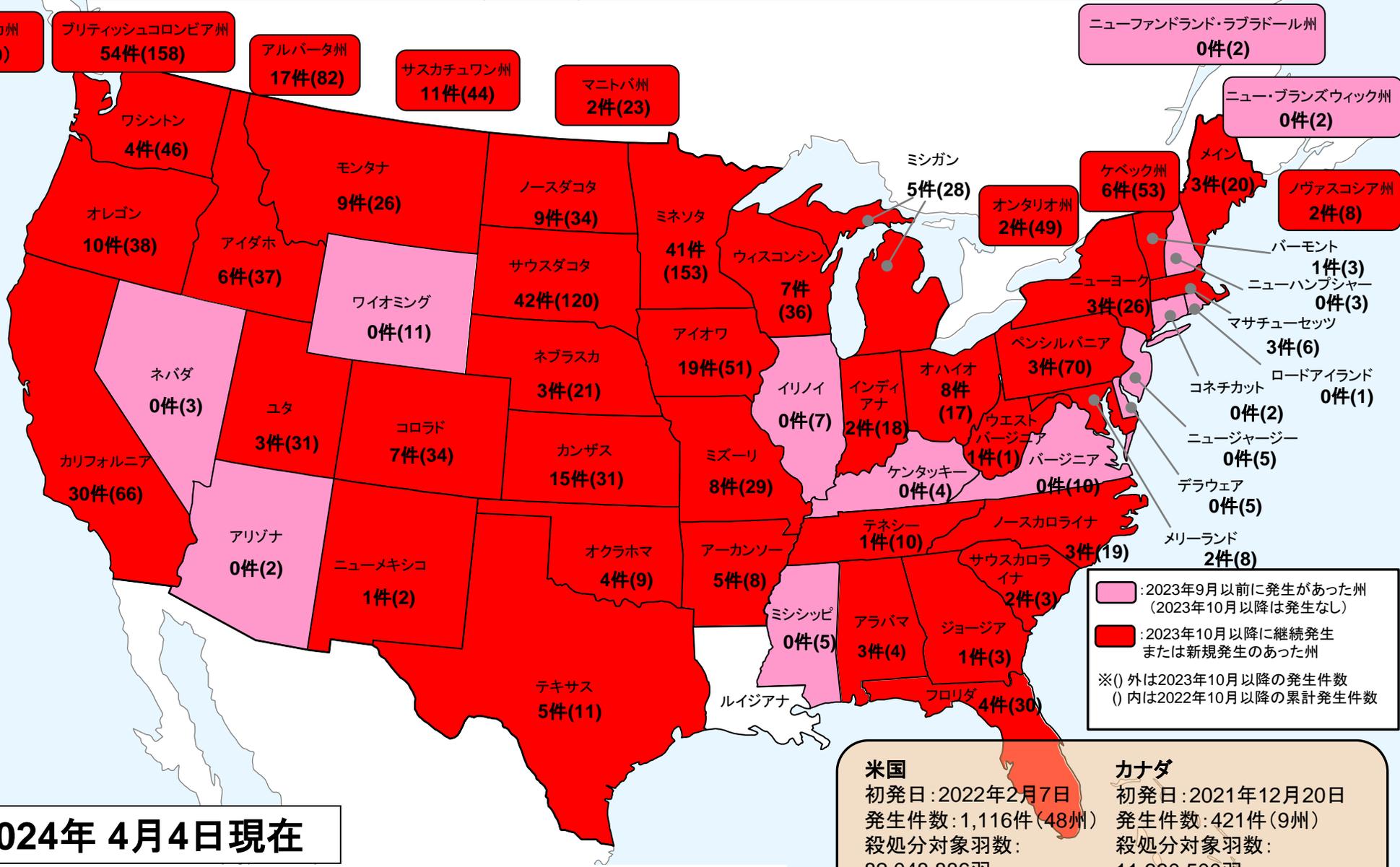
* 動物園における発生

出典:WOAH等

2024年3月30日現在

※[]は野鳥及び愛玩鳥等における感染事例を示す。
 ※本図は感染事例の報告の有無を示したもので、
 その後の清浄性確認については記載していない。
 ※型別に最新の発生事例を記載
 ※白色の国、地域であっても継続感染等により報告
 されていない可能性もある。
 ※WAHIS:World Animal Health Information Systemとは、
 WOAH(国際獣疫事務局)が提供する
 動物衛生情報システムである。

北米の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況



: 2023年9月以前に発生があった州 (2023年10月以降は発生なし)
 : 2023年10月以降に継続発生または新規発生のあった州
 ※() 外は2023年10月以降の発生件数
 () 内は2022年10月以降の累計発生件数

2024年 4月4日現在

裏庭農場での発生も含む。
 出典: 米国農務省動植物検疫局ウェブサイト、カナダ食品検査庁ウェブサイト、WOAH-WAHIS

米国 初発日: 2022年2月7日 発生件数: 1,116件 (48州) 殺処分対象羽数: 82,048,886羽 (2023年10月以降 276件 23,256,935羽)	カナダ 初発日: 2021年12月20日 発生件数: 421件 (9州) 殺処分対象羽数: 11,330,500羽 (2023年10月以降 94件 3,652,000羽)
--	--

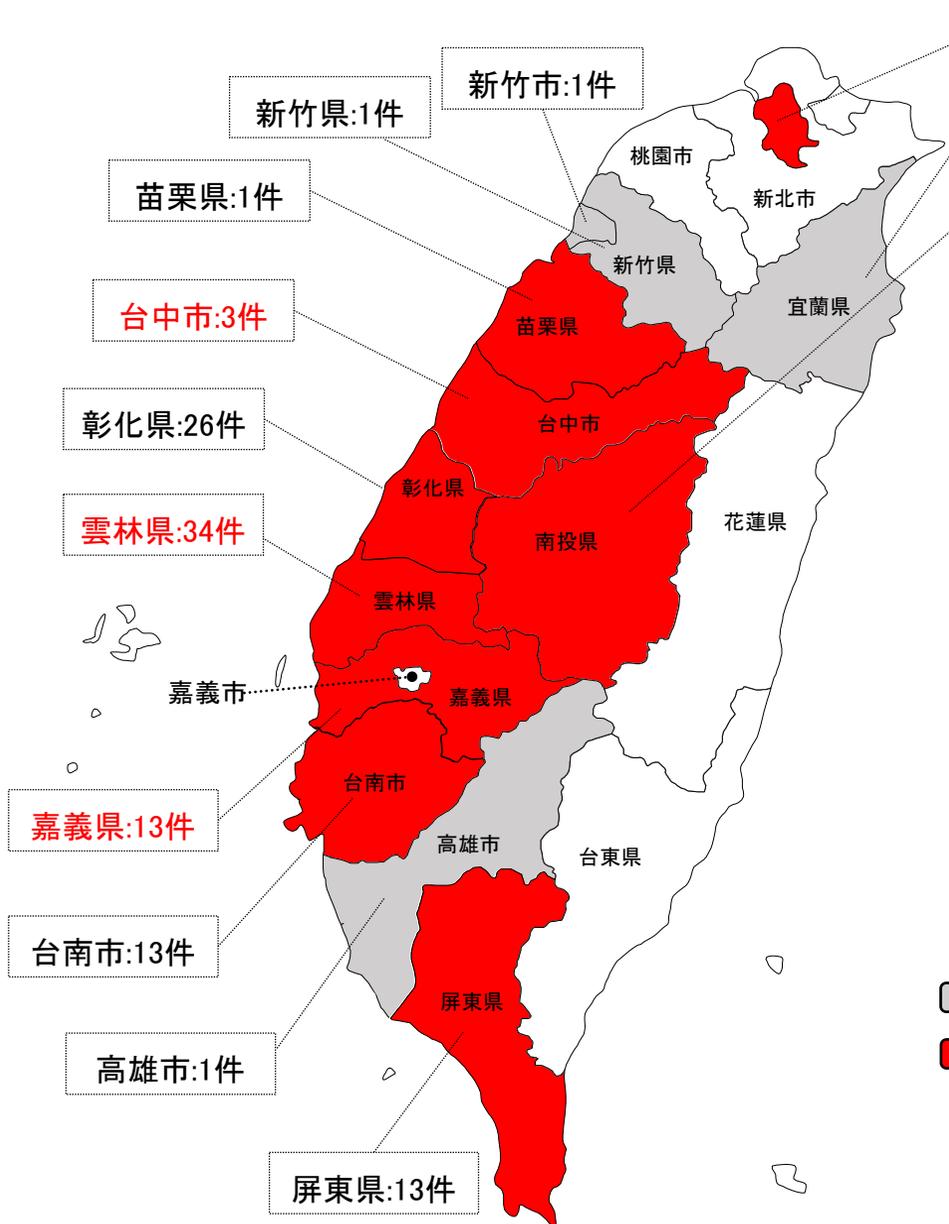
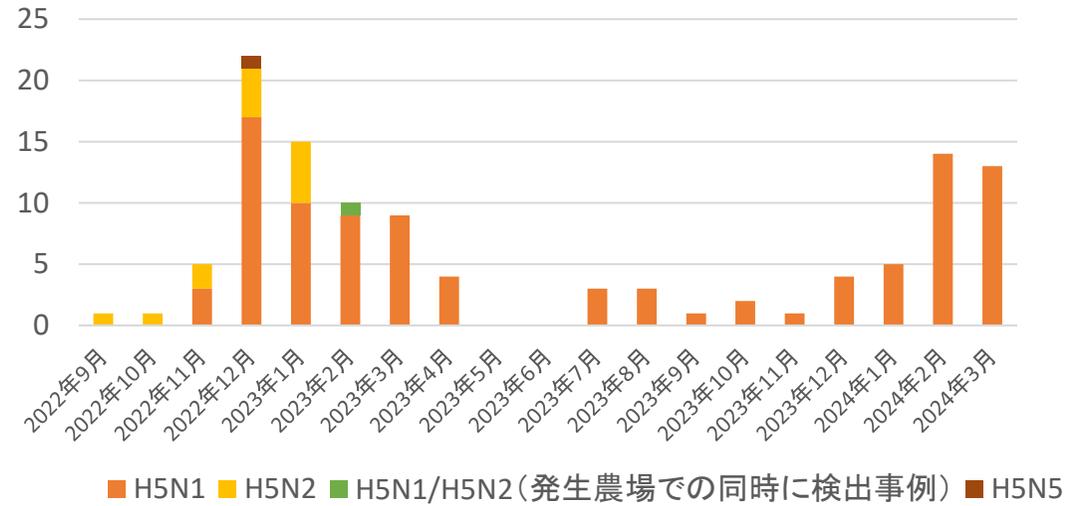
台湾の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2022年9月以降)

2024年3月30日時点

発生件数 **113件**

2022年9月以降の発生件数

(検体回収日に基づく)



■ : 2023年9月以前に発生があった州(2023年10月以降は発生なし)

■ : 2023年10月以降に継続発生または新規発生のあった州

※赤字は更新箇所

※食鳥処理場における採材・検出を含む。

※台湾では、2022年9月以前から高病原性鳥インフルエンザ(H5N2等)の継続発生が確認されている。

※嘉義県の肉用ガチョウでH5N5垂型の感染が確認された。(2023年1月)

出典:台湾当局HP(URL:<https://ai.gov.tw/index.php>)

韓国の家きんにおける高病原性インフルエンザの発生状況 (2023年10月以降)

2024年2月13日17時時点
農林水産省動物衛生課

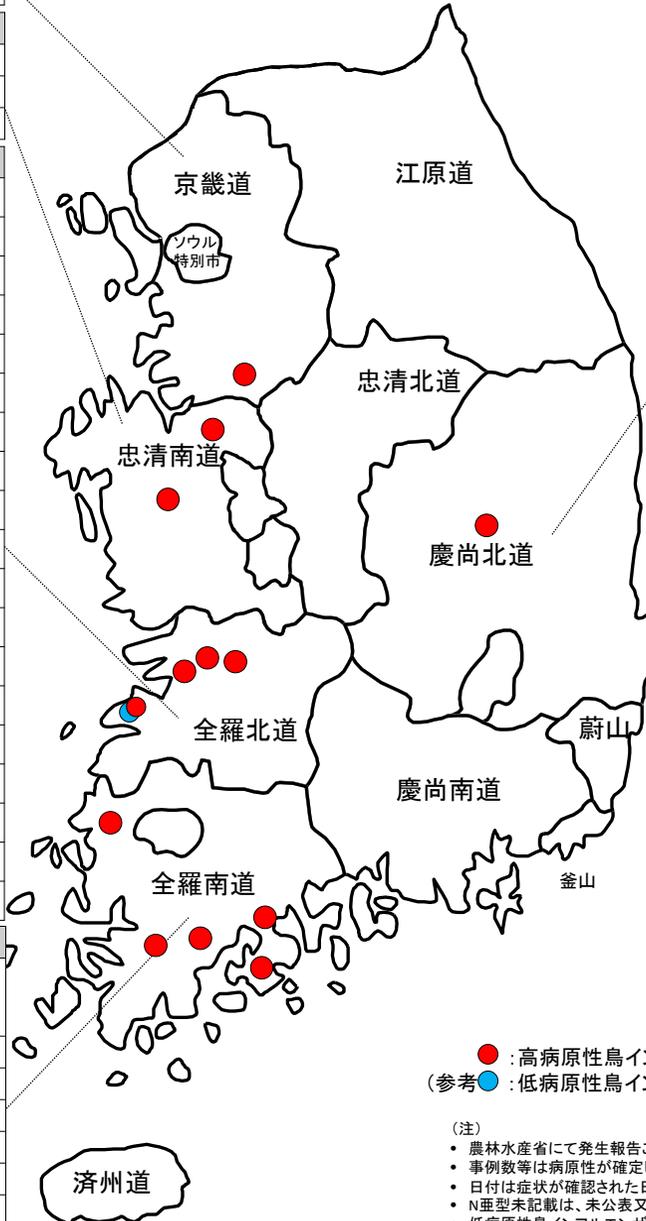
出典: 韓国農林畜産食品部

京畿道				
2024.1.8	安城市	採卵鶏	257,000羽	H5N6(高病原性)

忠清南道				
2023.12.8	牙山市	採卵鶏	28,052羽	H5N6(高病原性)
2024.1.5	天安市	採卵鶏	239,078羽	H5N1(高病原性)
2024.2.8	牙山市	肉用あひる	29,000羽	H5N6(高病原性)

全羅北道				
(参考) 2023.11.2	扶安郡	肉用あひる	42,000羽	H5(低病原性)
2023.12.6	益山市	肉用種鶏	26,000羽	H5N6(高病原性)
2023.12.6	益山市	肉用種鶏	62,500羽	H5N6(高病原性)
2023.12.8	金堤市	採卵鶏	160,681羽	H5N6(高病原性)
2023.12.11	金堤市	採卵鶏	66,500羽	H5N6(高病原性)
2023.12.11	完州郡	種あひる	8,165羽	H5N6(高病原性)
2023.12.11	益山市	採卵鶏	144,000羽	H5N6(高病原性)
2023.12.12	益山市	採卵鶏	74,500羽	H5N6(高病原性)
2023.12.13	金堤市	採卵鶏	115,000羽	H5N6(高病原性)
2023.12.13	金堤市	採卵鶏	32,000羽	H5N6(高病原性)
2023.12.13	金堤市	採卵鶏	41,000羽	H5N6(高病原性)
2023.12.13	金堤市	採卵鶏	25,000羽	H5N6(高病原性)
2023.12.14	金堤市	採卵鶏	4,7000羽	H5N6(高病原性)
2023.12.14	金堤市	採卵鶏	35,200羽	H5N6(高病原性)
2023.12.14	金堤市	肉用あひる	11,000羽	H5N6(高病原性)
2023.12.15	扶安郡	肉用あひる	42,000羽	H5N6(高病原性)
2023.12.15	扶安郡	肉用あひる	24,000羽	H5N6(高病原性)
2023.12.18	金堤市	肉用あひる	15,000羽	H5N6(高病原性)
2023.12.19	益山市	採卵鶏	79,000羽	H5N6(高病原性)

全羅南道				
2023.12.3	高興郡	肉用あひる	22,000羽	H5N1, H5N6 (混合感染) (高病原性)
2023.12.5	務安郡	肉用あひる	16,000羽	H5N6(高病原性)
2023.12.13	豊岩郡	肉用あひる	21,000羽	H5N1(高病原性)
2023.12.20	長興郡	肉用あひる	16000羽	H5N1(高病原性)
2023.12.22	豊岩郡	肉用あひる	21,870羽	H5N1(高病原性)
2023.12.25	宝城郡	肉用あひる	14,100羽	H5N6(高病原性)
2024.1.3	務安郡	肉用あひる	33,000羽	H5N6(高病原性)
2024.1.25	務安郡	種あひる	10,000羽	H5N6(高病原性)



高病原性鳥インフルエンザの発生状況(確定)

月	事例数	殺処分羽数(万羽)
12月	25	114.8
1月	5	90.6
2月	1	2.9
計	31	208.3

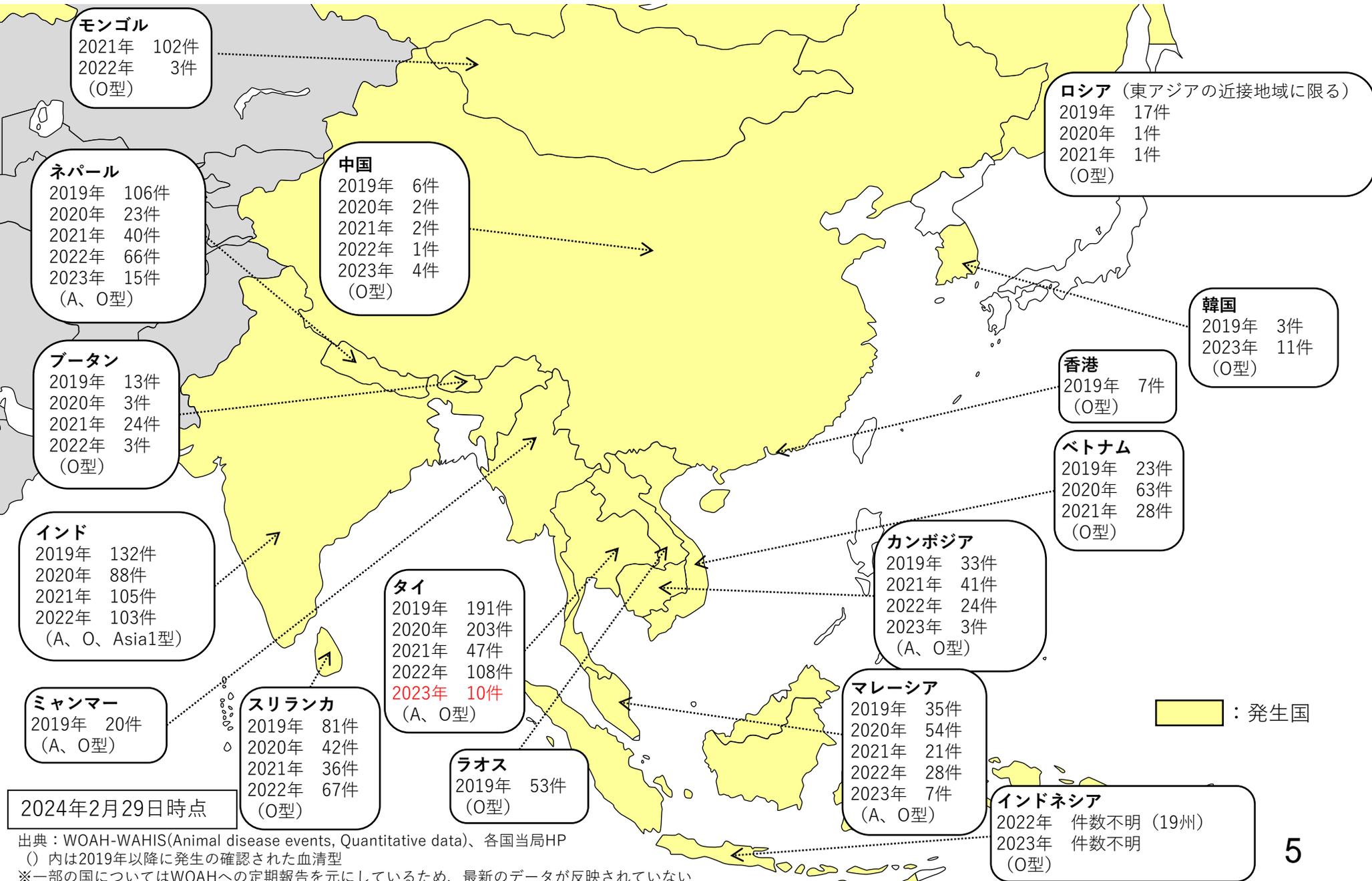
慶尚北道				
2024.1.9	義城市	採卵鶏	367,249羽	H5N1(高病原性)

● : 高病原性鳥インフルエンザ発生地点
(参考● : 低病原性鳥インフルエンザ発生地点)

(注)

- 農林水産省にて発生報告ごとに累計(予防的殺処分等は含まず)
- 事例数等は病原性が確定した事例のみ記載
- 日付は症状が確認された日または検体採取日(赤字は更新箇所及び最新情報に基づいた修正箇所)
- N亜型未記載は、未公表又は未確定。
- 低病原性鳥インフルエンザは、H5又はH7亜型であって高病原性鳥インフルエンザでないものを意味し、H9亜型等の鳥インフルエンザは含まない。

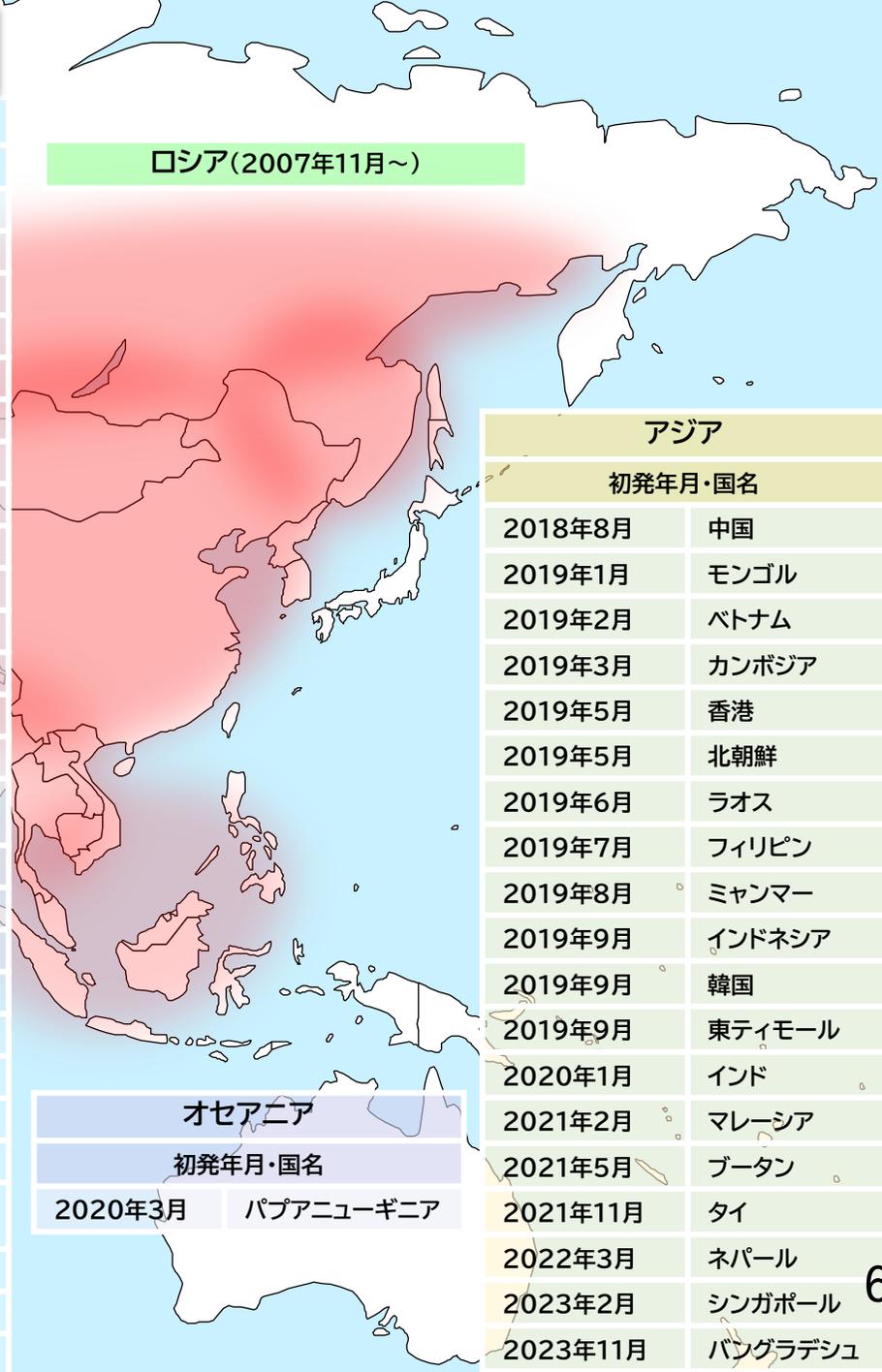
アジアにおける口蹄疫の発生報告状況（2019年以降）



アフリカ豚熱の発生拡大状況(2007年～)



欧州	
初発年月・国名	
2007年4月	ジョージア
2007年8月	アルメニア
2008年1月	アゼルバイジャン
2012年7月	ウクライナ
2013年6月	ベラルーシ
2014年1月	リトアニア
2014年2月	ポーランド
2014年6月	ラトビア
2014年9月	エストニア
2016年10月	モルドバ
2017年6月	チェコ
2017年7月	ルーマニア
2018年4月	ハンガリー
2018年8月	ブルガリア
2018年9月	ベルギー <small>(2020年10月に清浄化宣言)</small>
2019年7月	スロバキア
2019年7月	セルビア
2020年2月	ギリシャ
2020年9月	ドイツ
2021年12月	北マケドニア
2022年1月	イタリア
2023年6月	ボスニア・ヘルツェゴビナ
2023年6月	クロアチア
2023年7月	コソボ <small>(報道情報に基づく)</small>
2023年8月	スウェーデン
2024年1月	モンテネグロ
2024年2月	アルバニア



出典:WOAH等

2024年2月17日時点

【飼養豚での事例】

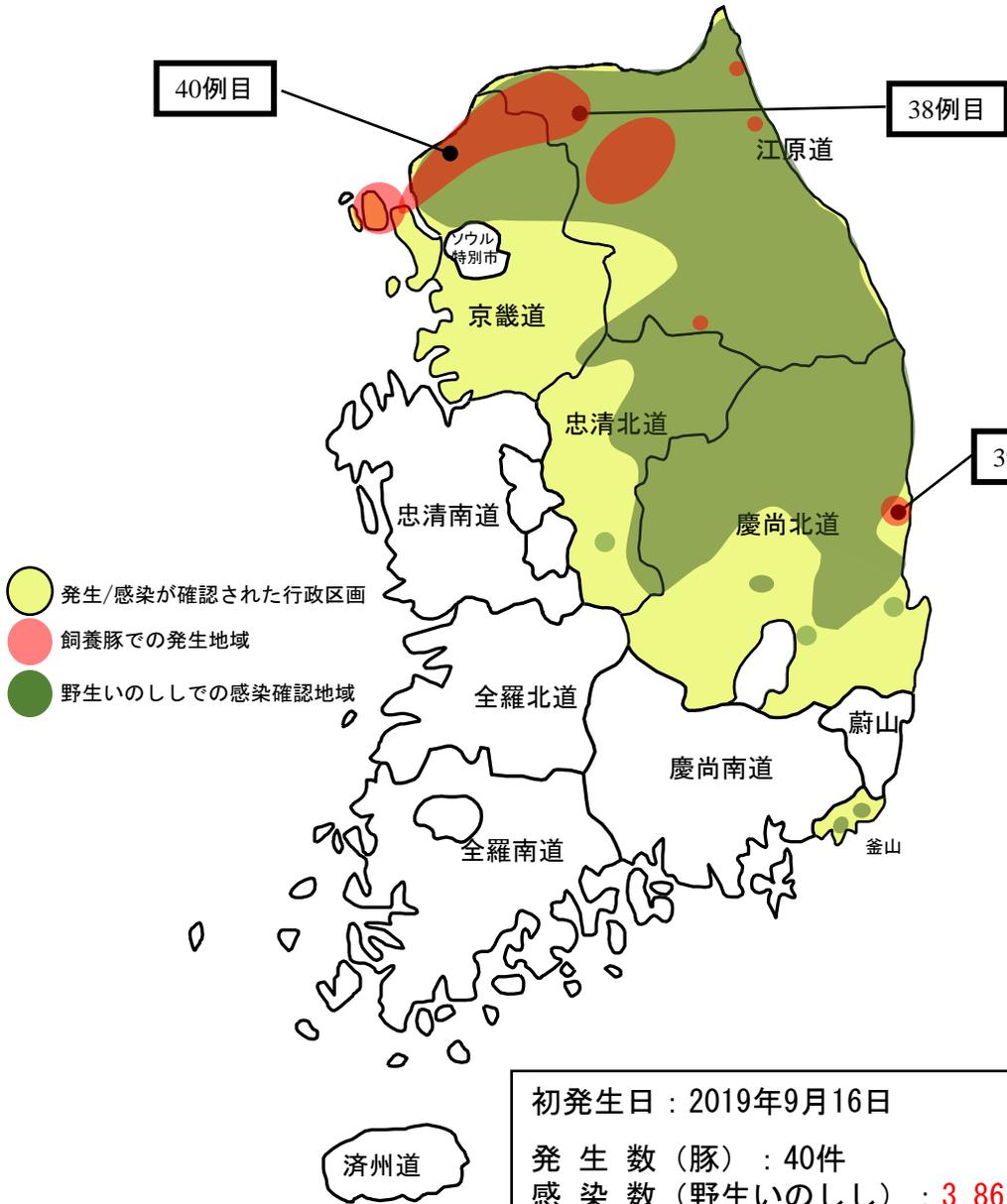
韓国におけるアフリカ豚熱の発生状況

2024年3月25日時点

事例	発生日	発地域
1	2019/9/16	京畿道坡州市
2	2019/9/17	京畿道漣川郡
3	2019/9/23	京畿道金浦市
4	2019/9/23	京畿道坡州市
5	2019/9/24	仁川広域市江華郡
6	2019/9/25	仁川広域市江華郡
7	2019/9/25	仁川広域市江華郡
8	2019/9/26	仁川広域市江華郡
9	2019/9/26	仁川広域市江華郡
10	2019/10/1	京畿道坡州市
11	2019/10/1	京畿道坡州市
12	2019/10/2	京畿道坡州市
13	2019/10/2	京畿道金浦市
14	2019/10/9	京畿道漣川郡
15	2020/10/8	江原道華川郡
16	2020/10/9	江原道華川郡
17	2021/5/4	江原道寧越郡
18	2021/8/7	江原道高城郡
19	2021/8/15	江原道麟蹄郡
20	2021/8/25	江原道洪川郡
21	2021/10/5	江原道麟蹄郡
22	2022/5/26	江原道洪川郡
23	2022/8/18	江原道楊口郡
24	2022/9/18	江原道春川市
25	2022/9/19	江原道春川市
26	2022/9/28	京畿道金浦市
27	2022/9/28	京畿道坡州市
28	2022/11/9	江原道鉄原郡
29	2023/1/5	京畿道抱川市
30	2023/1/11	江原道鉄原郡
31	2023/1/22	京畿道金浦市
32	2023/2/11	江原道襄陽郡
33	2023/3/19	京畿道抱川市
34	2023/3/29	京畿道抱川市
35	2023/3/31	京畿道抱川市
36	2023/4/13	京畿道抱川市
37	2023/7/18	江原道鉄原郡
38	2023/9/25	江原道華川郡
39	2024/1/15	慶尚北道盈徳郡
40	2024/1/18	京畿道坡州市

【野生イノシシでの事例】(単位: 件)

京畿道	坡州市	100
	漣川郡	418
	抱川市	94
	加平郡	62
	鉄原郡	37
江原道	華川郡	426
	春川市	222
	楊口郡	81
	麟蹄郡	158
	高城郡	12
	寧越郡	253
	襄陽郡	36
	江陵市	110
	洪川郡	63
	平昌郡	46
	束草市	1
	旌善郡	179
	横城郡	63
	三陟市	103
	原州市	83
忠清北道	太白市	19
	東海市	8
	丹陽郡	187
	堤川市	91
	報恩郡	73
	槐山郡	12
	蔚山	1
	忠州市	107
	尚州市	119
	蔚珍郡	64
慶尚北道	聞慶市	64
	栄州市	15
	禮泉郡	15
	奉化郡	85
	盈徳郡	111
	安東郡	44
	英陽郡	92
	青松郡	89
	浦項市	54
	永川市	29
義城郡	17	
釜山広域市	18	
合計	3,861	



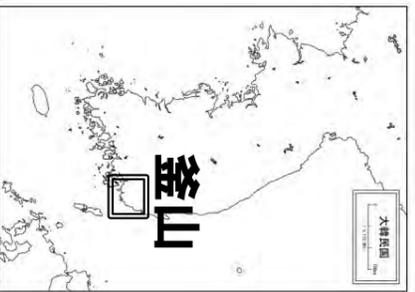
初発生日：2019年9月16日
 発生数(豚)：40件
 感染数(野生いのしし)：3,861件
 豚、いのしし飼養頭数：約 1,122万頭

※ 韓国当局公表資料等の情報を元に作成
 飼養頭数：FAO統計(2021)による
 ※ 赤字は2024年3月18日時点から更新

釜山市の野生イノシシでの アフリカ豚熱の感染拡大⁸⁹

(消費・安全局調べ 4/6現在)

金海国際空港
新千歳、成田、関西国際、
中部国際、松山、福岡 行き



釜山港
国際旅客ターミナル
対馬、福岡、
下関、大阪 行き

農林水産省

※いずれも野生イノシシでの事例